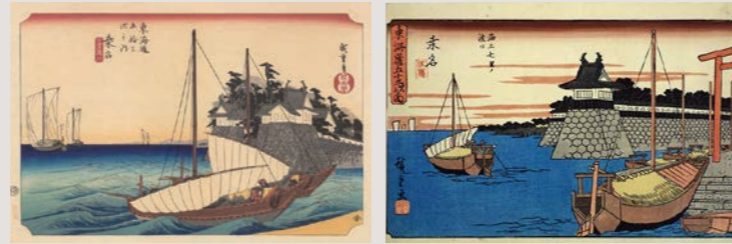


交通の要衝ゆえに高められた”安全性”。



現地は旧桑名城下町でも高台に位置していた事から、江戸時代に東海道唯一の海路”七里の渡し”の渡船場が置かれました。その後津波などから渡船場を守る為、堤防づくりや改修も重ねられた事で、更に安全性が高まりました。



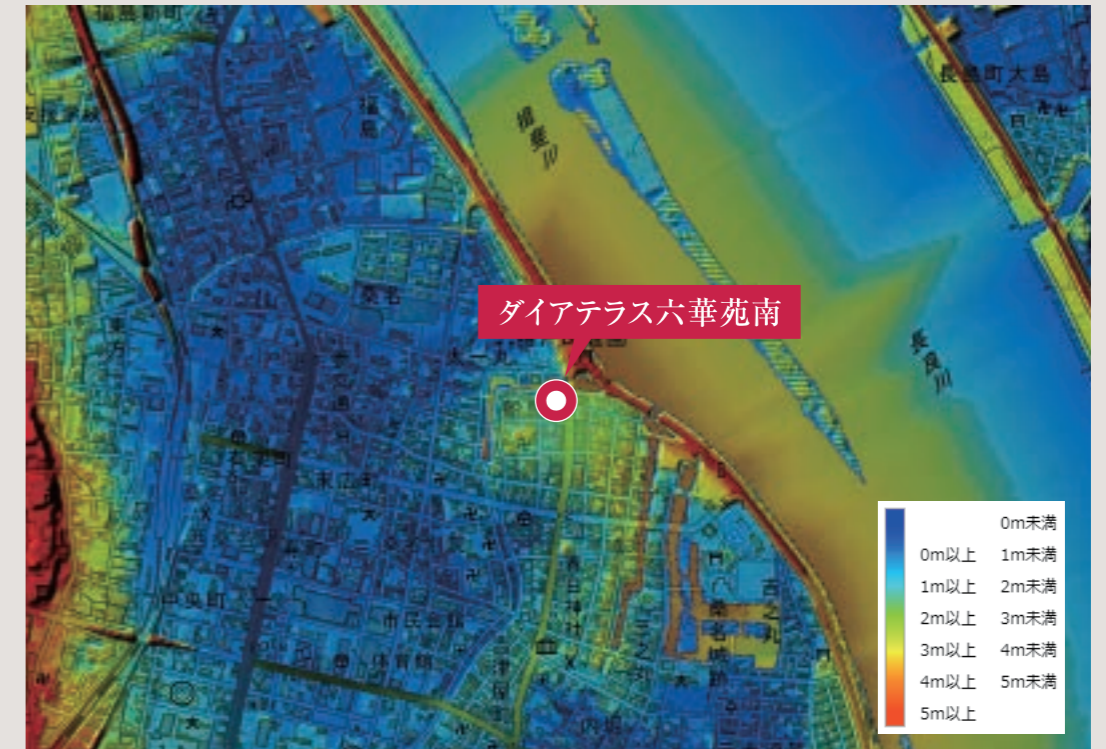
歌川広重『東海道五拾三次 桑名』



桑名宿・七里の渡し跡

桑名市船馬町は海拔標高が高い。

桑名駅東側に広がる中心市街地の殆どが海拔0mちよつとの低地。しかしその中でも「桑名城本丸跡」と「船馬町付近」だけ高くなっているのが分かります。



駅東でも安全に暮らせる船馬町。

元々や標高が高かった事に加え、津波や河川氾濫に対する対策を長年に亘り積み重ねてきたことで、船馬町は駅東エリアでも唯一といってよい”安全に暮らせる地”となっています。

